

第1章

調査結果の概要

《全体結果》

1 生活の変化等について

日常生活について、6割以上が『悪影響があった』と感じている。理由として、「旅行等の外出制限」が最も多く、「各種イベントの開催・参加制限」「友人等の付き合いの悪化」と続いている。

生きがいや趣味の活動について、7割強が『悪影響があった』と感じており、理由として『活動に参加する』または『活動を行う』ことを自粛した」が最も多い。

以前のようにイベントや行事に参加する・活動するための基準として、約4割が「ワクチンの開発などにより、ある程度終息するまでは行わない」と考えている。

健康づくりなどの運動量について、約4割が「新型コロナウイルス禍以前より運動量が減った」と感じている。気力・体力については、約5割が『低下した』と感じている。気力・体力の低下予防策の内容では、「運動を可能な限り積極的に行っている」「家族の時間を大切にしている」「趣味の活動を可能な限り充実させている」の順に多い。

家族との会話時間について、3割が『増えた』と感じている。一方、家族以外の人（友人や地域の方々など）との会話時間は、5割以上が「会話する時間が減った」と感じている。家族以外の人ともっと話す時間が欲しいと『思う』人は6割以上で、不足している理由として、6割以上が「相手に迷惑が掛からないよう自粛している」と答えている。家族以外の人との会話時間が欲しいと『思わない』人の理由は、「他の人との会話は十分にできている」「新型コロナウイルス対策のため」「一人でいることが好きだから」の順に多い。

新型コロナウイルス禍での不安等を解消するために、5割以上が「感染症等への誹謗中傷をしない『やさしいまちづくり』の推進」「感染症予防・対策の周知、啓発」を大切だと考えている。

2 地域の福祉や活動について

地域活動や地域の行事について、「感染症予防対策を十分に行い、工夫しながら活動や行事を再開するとよい」が「ワクチンや薬の開発があるまでは、このまま自粛を継続するとよい」をわずかに上回っている。

地域活動や行事の自粛により、3割以上が「これまでの行事や活動を見直すきっかけになった」と感じており、「例年行っている地域の行事や活動の大切さが分かった」と感じている人も多い。

地域活動への参加有無について、「現在も参加している」は1割半ばにとどまっている。「過去に参加したことがあるが今はしていない」「これまで参加したことがない」が4割前後で、理由として「多忙で参加する時間がない」「役員や班長などの任期が終わった」「身体的、精神的理由により参加が難しい」の順に多い。

人とのつながりをつくる（保つ）ために、約8割が「住民同士のあいさつや声かけなどの『近所付き合い』が必要だと考えている。

地域のために『現在』協力していることは、約2割が「資源回収やゴミの分別、リサイクル活動」「自治会、町内会、民生委員、消防団などの団体活動や地域活動」と答えているものの、「特にない」が最も多い。『今後』協力可能なことは、「身近な道路や公園などの清掃活動」「自治会、町内会、民生委員、消防団などの団体活動や地域活動」「資源回収やゴミの分別、リサイクル活動」「高齢者や障がい者へのゴミ出しや除雪などのお手伝い」の順に多い。

今後の地域活動を行うために、「感染対策を行った地域の行事や活動の検討」「高齢者等の見守りや買い物など、生活上の困りごとへの支援」「例年行ってきた地域の行事や活動内容の見直し」の順に大切だと考えている。

第2章

調査の概要

《調査の概要》

1 調査の目的

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新しい生活様式が示され国民の生活にも大きな影響が出た。

地域福祉の分野においても様々な影響が出たことから、今後の地域福祉活動の在り方や区民のニーズを捉える資料とするため、西区民を対象とした地域福祉に関するアンケート調査を行うもの。

アンケート調査の結果については、今後の行政や社会福祉協議会の施策の参考とするとともに、各コミュニティ協議会や自治会等にも配布し、今後の地域活動を行う上での参考としていただくことを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 回答者属性
- (2) 生活の変化等について
- (3) 地域の福祉や活動について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 新潟市西区
- (2) 調査対象 満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（調査票の配布・回収とも）
- (6) 調査期間 令和 3 年 1 月 15 日～ 2 月 15 日

4 回収結果

有効回収数（率） 1,578 人（52.6%）

	標本数	回収数	回収率
全体	3,000 人	1,578 人	52.6%
内野・赤塚・中野小屋	700 人	361 人	51.6%
小針・小新	800 人	416 人	52.0%
坂井輪	500 人	258 人	51.6%
五十嵐	500 人	288 人	57.6%
黒埼	500 人	255 人	51.0%

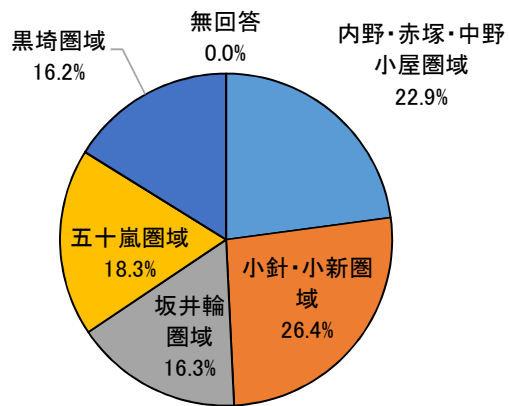
5 集計結果の数字の見方

- (1) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100%にならないことがある。
また、複数回答（2つ以上の回答）では、合計が 100%を超える場合がある。
- (2) 図表中の「n」は、質問に対する回答者の総数を示し、回答者の比率（%）を算出するための基数である。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

6 回答者属性

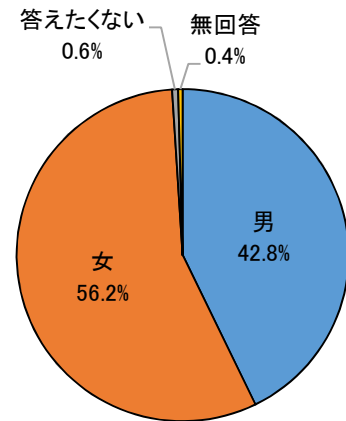
(1) 圏域別

全体(n=1578)



(2) 性別

全体(n=1578)



(3) 年代

全体(n=1578)

